

平成 27 年 度 自 己 評 価 表

鳥取県立米子白鳳高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	1 学業に取り組むための「学ぶ意欲」を育てる。 2 「心の優しさ」を大切にし、他者と共存する力を育てる。 3 「将来の夢」の実現に挑戦し、社会的自立を果たす姿勢を育てる。	今年度の 重点目標	1 基礎学力の向上 2 豊かな人間性の育成 3 進路指導の充実 4 地域・外部機関との連携
---------------------------	---	----------------------	--

年 度 当 初					評 価 結 果 () 月		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
基礎学力の向上	意欲的な授業への取組	学習習慣を身につけ、意欲的に授業に参加する取組が必要である。	チャイム順守・授業マナーなどきちんとした態度でのぞみ、授業を大切にしている態度を育てることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・単位修得に向けて、安易な欠席がないようにこまめに声をかける。 ・欠席、遅刻、早退について、担任への報告を徹底させる。 ・生徒個々の履修および修得状況等の早期把握と職員間での共有を図る。 			
	「わかりやすい授業」の実践	授業において、基礎学力を向上させる工夫が必要である。	生徒の状況に対応した教材開発等を進め、わかりやすい授業、魅力ある授業づくりをすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインを意識した授業に取り組む。 ・学力向上のための講師派遣事業を活用し、授業改善に取り組む。 ・授業アンケートを利用し、授業改善に取り組む。 			
豊かな人間性の育成	基本的な生活習慣の確立	挨拶、言葉づかいなど基本的な生活習慣を身に付ける取組が必要である。	すすんで挨拶をし、正しい言葉づかいをすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「挨拶」「声かけ」を積極的に行う。 ・社会人として必要な言葉づかいの指導に心がける。 			
	人間関係力の育成	コミュニケーションの促進により、人間関係を築いていく環境づくりが必要である。	クラスが、居心地の良い場所になるように、お互いを思いやる気持ちを育てることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・SHRや清掃の時間、休憩時間など積極的に声かけをして、相談しやすい信頼関係を築く。 ・SC・SSWeR・白鳳サポーターなどと連携を図る。 ・人権教育LHRの充実を図る。 ・定通教育充実事業の活用により、コミュニケーションの促進を図る。 			
	環境意識の高揚	ゴミの分別や公共施設の利用マナーなどを身に付ける取組が、大切である。	地域の一員としての自覚を持ち、公共施設を利用する上での心構えを理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力して掃除に取り組む、美化活動の大切さを理解させる。 ・環境教育講演会、現地学習、環境保全活動などに取り組む。 ・JR淀江駅の美化と駅利用のマナーアップに努める。 ・通学路のポイ捨て撲滅に取り組む。 			

年 度 当 初					評 価 結 果 () 月		
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
進路指導の充実	進路意識の高揚	経済・社会環境や雇用情勢の変化に対応するため、早期から進路に対する意識づけが必要である。	生徒が、進路に対する意識を持ち、個々の適性にあった進路選択をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・産業社会と人間、LHR、総合的な学習の時間を活用して進路目標を持たせる。 ・上級学校・事業所見学などを実施する。 ・進路関連書籍・DVDなどを充実する。 			
	進路理解の促進	社会人としての基本的マナーを習得し、進路目標を実現するための取組が必要である。	進路実現のための段階的な内容を理解し、社会人としての実践的なマナーの習得や職業理解を深めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部、保護者と連携をとりながら、進路保障の実現を図る。 ・キャリアアドバイザーを活用し、個人面談・指導等を通して、生徒個々の能力・適性を見極めた適切な進路指導を行う。 			
地域・外部機関との連携	地域交流と地域資源の活用	体験学習や異世代との交流により、社会とのかかわりを持つことが大切である。	地域における異世代交流を通して、地域理解を深めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人講師を招くなど、キャリア教育充実事業の実践的な講座を実施する。 ・定着指導や就職先・進学先開拓を積極的に行い、進路選択の幅を広げ、外部関係機関との連携をはかり、進路相談をより充実させる。 			
	地域への発信	本校の取組を地域の方に理解され、協力していただくことが求められる。	本校の教育活動内容が、地域の方に理解されることが出来る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校独自事業を活用し、地域の保育園児や高齢者との交流を図る。 ・定通教育充実事業を活用し、授業に地域の伝統芸能などを取り入れることにより、地域理解を深める。 ・学校Webページと学習成果発表会などで、積極的に地域へ情報発信する。 			

評価基準 A: 十分達成 B: 概ね達成 C: 変化の兆し D: まだ不十分 E: 目標・方策の見直し
 [100%] [80%程度] [60%程度] [40%程度] [30%以下]